

(公社)沖縄県シルバー人材センター連合  
平成28年度事業報告

我が国は、少子化の進展による生産年齢人口の減少から労働力不足による経済活力の低下が懸念されているが、一方で65歳以上の高齢者人口は3,300万人に達しており、元気な高齢者の活躍が期待されている中、平成28年6月閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」には、我が国の成長力を確保していくためにも、高齢者の就業率を高めることが重要と記されており、高齢者へ就業機会を提供するシルバー人材センターには一層大きな期待が寄せられている。

又、景気の回復により、県内においても一部の分野において人手不足が顕在化しており、高齢者が活躍する場が広がりつつある状況となっている。

このような中、平成28年度も「第二次中期事業計画」に基づき、拠点センターと連携・協力して「働く高齢者のワンストップサービスセンター」の実現と数値目標の達成に取り組むとともに、高齢者活躍人材育成事業を受託して高齢者へ就業に必要な知識・技能を付与することにより、人手不足分野や現役世代を支える分野へ的高齢者の就業促進にも取り組んできた。

しかしながら、28年度の事業実績は、全ての項目について目標を達成することができなかった。そのような中で、労働者派遣事業の実績が順調に拡大しており、今後も人手不足分野への就業促進が見込まれるとともに、ホワイトカラー層高齢者の多様なニーズに応える事業として会員拡大も期待できるため、引き続き拠点センターと連携して取り組んでいくことが必要と考える。

## 1 基本方針の取組概要

### ① 多様な知識・経験を持つ高齢者の入会促進と多様な就業機会の拡大

第二次中期事業計画の数値目標の達成に向け、拠点センターと連携・協力して高齢者の事業参加の促進と就業機会の拡大に取り組んだ結果、会員数5,755名(87名減)、契約額24億3,129万円余(2,027万円余増)となった。

### ② 安全・適正就業を推進し、安全で魅力あるシルバー人材センターの実現

安全で魅力あるシルバー人材センターを実現するため、拠点センターと連携・協力して安全就業、適正就業を推進し、事故の未然防止に努めたが、事故発生件数が92件(24件増)となった。

### ③ 連合及び拠点センターの組織強化と財政基盤の強化

事業推進検討委員会や拠点センター事務局長会議、各種担当者会議及び研修会を開催するとともに、訪問指導や相談への対応、拠点センター職員の自主活動(事業研究会、福祉・家事援助サービス研究会)への支援を通して拠点センターの組織強化と財政基盤の強化に努めた。

#### ④ 公益法人として、公益目的事業の着実な実施

シルバー人材センター事業（公益目的事業1）について、国、県指導の下、拠点センターと連携・協力して着実な推進と法に準拠した運営に努めた。

シニアワークプログラム地域事業（公益目的事業2）は、諸事情により実施できなかった。

### 2 数値目標の達成状況

|               | (実績)      | (目標)      | (27年度)    |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| ① 会員数         | 5,755名    | 7,200名    | 5,842名    |
| ② 就業率         | 76.6%     | 82.5%     | 76.3%     |
| ③ 就業延人員（全体）   | 447,067人日 | 459,162人日 | 445,211人日 |
| ④ 就業延人員（派遣事業） | 11,831人日  | 15,075人日  | 7,392人日   |
| ⑤ ボランティア参加人数  | 6,250名    | 7,148名    | 6,658名    |

### 3 実施計画の取組状況

#### [公益目的事業Ⅰ]

就業等の活動機会の開拓及び提供により高齢者の社会参加を促進する事業

#### (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

##### ① 受託調整

一般家庭及び事業所等のニーズと高齢者の就業ニーズをマッチングするため各拠点センターと連絡・調整を行った。

#### (2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

##### ① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行ったが、実績はなかった。

29年度は強化推進に努めることとする。

##### ② 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する拠点センター会員のために、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で一般労働者派遣事業を行った。

#### ア 受注実績

|            |             |               |
|------------|-------------|---------------|
| ・労働者派遣事業収益 | 59,380,514円 | (目標 48,449千円) |
| ・就業実人員     | 287人        |               |
| ・就業延人員     | 11,831人日    |               |

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

① 技能講習会の実施

「高齢者活用人材育成事業」を活用して、就業意欲のある高齢者に対し、人材不足分野等に係る就業上必要な知識及び技能を付与することにより、請負、派遣、職業紹介による雇用・就業を促進するため、次のとおり技能講習会を実施した。

ア 実施実績

|                |         |           |      |      |
|----------------|---------|-----------|------|------|
| ・受講開始者数        | 214名    | (目標 182名) |      |      |
| ・実施講習数         | 20講習(回) |           |      |      |
| 車両運転スタッフ講習(4回) | 修了者数    | 39名       |      |      |
| 清掃スタッフ講習(3回)   | 修了者数    | 35名       |      |      |
| 介護補助スタッフ講習(5回) | 修了者数    | 51名       |      |      |
| 調理補助スタッフ講習(3回) | 修了者数    | 28名       |      |      |
| 保育補助スタッフ講習(2回) | 修了者数    | 20名       |      |      |
| 造園スタッフ講習(3回)   | 修了者数    | 31名       | 修了者計 | 204名 |

(4) 上記(1)～(3)の事業推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業の普及拡大を図るため、拠点センターと連携して、高齢者及び県民、事業所、官公庁等に対する普及啓発活動を次のとおり行った。

ア 多様な知識・資格・能力を持つ高齢者へ事業参加の呼びかけを行った。

- ・新聞等広告掲載 3回(1紙)
- ・ラジオCM放送 69回(1月～3月 放送局3社)

イ 連合だよりの作成(1回 6,000部)し、関係団体等へ配布した。

ウ 普及啓発促進月間(10月)を設定し、拠点センターと連携して啓発に努めた。

- ・シルバーの日(10月15日)にボランティア活動を推進(参加1,005名)
- ・会員経験交流大会(子育て応援フェア)の開催(10月22日 約300名)

エ 未設置町村に対し、シルバー事業に係る情報提供や訪問活動を行った。

- ・訪問活動 南風原町、恩納村
- ・情報提供 久米島町(来訪)

オ その他

- ・月刊シルバーを購入(毎月77冊)し、関係団体(41市町村他)へ配布した。
- ・リーフレットを作成(2種3,500枚)し、拠点センターの協力を得て配布した。

② 安全・適正就業の推進

安全・適正就業対策を効果的かつ着実に実施するため、高齢者の安全意識の高揚及び法令遵守の徹底に向け、拠点センターと連携して次の通り行った。

ア 安全・適正就業推進委員会（2回）を開催し、安全・適正就業推進計画を策定、安全就業、適正就業の徹底に取り組んだ。

イ 安全・適正就業パトロール指導員（1名）を配置し、巡回指導を実施した。

指導実績 17センター（166回 332現場）

ウ 拠点センター安全・適正就業担当者会議（2回）を開催し、事故防止対策等について共通認識を深めた。

エ 安全・適正就業強化月間（7月）を設定し、拠点センターと連携して安全意識の高揚等に取り組んだ。

・安全・適正就業推進大会を開催（7月6日 152名参加）

オ 「適正な運営のための受注基準」に基づく受注の徹底を図った。

カ 安全・適正就業に関する情報等を収集し、拠点センターへ提供した。

### ③調査研究

シルバー事業の発展・拡充に資するため、次のとおり調査研究を行った。

ア 事業概況を作成（200冊）し、関係団体へ配布した。

イ シルバー事業に対する一般高齢者の意識調査を実施した。

アンケート調査数 443名

ウ 県内企業の運営情報を収集し、拠点センターへ提供した。（商工リサーチ）

### ④就業分野の開拓・拡大等

高齢者の多様な希望に応じた就業機会を確保・提供するため、就業分野の開拓・拡大を図るとともに、効率的な事業運営を推進するため、拠点センターと連携して次のとおり行った。

ア 事業推進検討委員会〈3回〉及び拠点センター事務局長会議（3回）を開催し、連合事業の円滑な推進に努めた。

イ 就業機会開拓員（1名）を配置し、就業開拓に努めた。

訪問回数 延 107回（事業所）

ウ 拠点センター派遣事業担当者会議（1回）を開催し、適正な運営に努めた。

エ 全シ協、九シ協等の主催する研修会等へ参加し研鑽に努めた。

参加実績 全シ協 11回、九シ協 4回、その他 1回（延 21名参加）

### ⑤指導・相談

高齢者や地域社会のニーズに的確に対応した事業展開及び拠点センターが円滑に事業推進できるよう、情報提供、指導・助言を行うとともに、拠点センター役職員の資質向上を図るため次のとおり研修会等を行った。

ア 拠点センター役職員を対象とする研修会を開催した。

開催数 7回（安全・適正就業推進大会、会員経験交流大会含む）

イ 拠点センター訪問指導（全シ協個別指導含む）を実施した。

指導センター 6センター（7回）

ウ 拠点センター職員の自主的研究活動を支援した。

事業研究会（3回）、福祉・家事援助サービス研究会（3回）

エ 高齢者及び拠点センター職員等の相談等へ対応した。

相談件数 12センター（23回）

オ シルバー事業説明・相談会を開催した。（石垣市 56名参加）

カ グッジョブセンターへ出張相談窓口を設置し、高齢者の就業相談に対応した。

窓口設置 12回（相談者数 35名）

#### ⑥ 社会参加活動の推進

ボランティアによる社会参加を希望する高齢者に呼びかけ、拠点センターと連携してボランティア活動を推進した。

参加人数 延べ 6,250名

### 4 運営体制

運営を適正かつ効率的に運営するため、次のとおり取り組んだ。

#### ① 運営体制の充実

理事会の充実と効率的な事務執行に努めた。

#### ② 会議の開催

ア 定時総会（6月16日 参加17センター）を開催した。

イ 理事会（5回）及び三役会議（4回）を開催し、適正な運営に努めた。

ウ 拠点センター理事長会議（10月13日 参加13名）を開催し情報交換を行った。

#### ③ その他の取組

関係行政機関及び関係団体との連携に努めた。